

鹿児島大学－山口大学による「共同獣医学部」設置構想

I. 共同獣医学部設置の背景と必要性

1. 設置の背景

動物と人の健康と福祉を確保するために、獣医師の果たすべき職責は多様化し、社会的要請は年々増大している。そのため獣医学教育には、高度獣医療の提供のみならず、食の安全と安定供給の確保、人獣共通感染症の制圧、生態系の保全と環境問題の解決、動物生命倫理の遵守に対応した獣医師を養成することが求められている。一方、世界的に The World Organisation for Animal Health(OIE)主導の基に獣医学教育の向上が提言され、公衆衛生、食品安全および越境性疾病に関する知識と解決能力を教授する必須カリキュラム・モデルを作成することで、この分野の獣医学教育水準を国際的に統一化する施策が合意されている。しかし我が国における獣医学教育の充実は一向に進まず、多様な職域を背景とした獣医師の偏在が顕著となっており、産業動物分野ならびに自治体勤務の獣医師不足が深刻な問題となっている。

2. 設置の必要性

近年、新興感染症の脅威や、人口増と環境問題の深刻化による食料生産不足が国際的課題となっており、これらの分野での獣医師の貢献が強く求められている。そのため、OIE は獣医学教育に対して勧告を行い、獣医学系大学の国際的評価システムを作ることを提言している。我が国の獣医学教育が国際的に認められるためには、欧米に準じる獣医学教育体制を構築し、実施する必要がある。

一方、日本国内では、多様な職域を背景とする中での獣医師偏在の解消が緊急の課題である。産業動物獣医師や自治体勤務獣医師の不足解消とともに、これら分野の獣医師としての実践力の向上が求められている。さらに、問題解決能力を備えた臨床獣医師や、食品・医薬産業界で活躍できる基礎研究推進能力を有した獣医師も嘱望されている。また、近年では離職率の高さも大きな問題となっており、在学中に獣医師の多様な職域と職務について正しい理解を深めることが重要であると考えられる。

これら国内外からの要望に応えるには、新たな獣医学教育カリキュラムとその実施体制の構築が必須であるが、教員数並びに施設・設備の面からこれまでの単一獣医学系大学での対応は困難である。国際的認証を受け、多様性に富む社会的要求に応えながら、広い職域における獣医師の偏在を是正するためには、複数の大学で共同の獣医学教育課程を設置し、そのスケールメリットを活かした相補完的な教育プログラムを開発し、実践することが必要である。

Ⅱ. 共同獣医学部の理念と養成する人材像

獣医学は動物と人類の健康と福祉に貢献するという基本理念のもと、鹿児島大学と山口大学は共同で地域に根ざした学際協力による獣医学教育を体系的に創出し、実践することにより、国際的に通用する獣医師を養成する。そのため産業動物、伴侶動物および野生動物の臨床獣医学、人の健康と食の安全を担う獣医公衆衛生学、これらを支える基礎生命科学に関する教育を展開する。また、各大学の置かれる地域特性を活かした教育プログラムを充実させ、中国、四国、九州地区における地域獣医療の発展と市民の健康管理に貢献するとともに、国際的にも活躍できる獣医師を育成し、東アジアにおける獣医学分野に向け先導的な教育を発信する。これらの理念の基、共同獣医学部では次の人材養成を目標とする。

1. 明晰かつ批判的に思考する能力を有している。
2. 新たな問題を提起・解決し、それを発表できる能力を有している。
3. 英語をはじめとする外国語に通じる能力を有している。
4. 生命科学を理解するための知識と技術を習得している。
5. 獣医療を実践するための知識と技術を習得している。
6. 感染症の脅威と防御について理解し、必要な知識と技術を習得している。
7. 食資源の安全性確保について理解し、必要な知識と技術を習得している。

Ⅲ. 共同獣医学部の教育の特色

鹿児島大学は畜産基地に位置し、大規模農場、農業共済組合、家畜保健衛生所、食肉センターなどと連携した高度産業動物獣医療の実践という特色を持つ。山口大学は福岡と広島の大都市間に位置し、二次診療に特化した伴侶動物の高度獣医療の実践という特色を持つ。さらに、公衆衛生学研究においては、鹿児島大学は食および産業動物分野の特色を、山口大学は野生動物および伴侶動物の感染症分野の特色を持つ。共同獣医学部では両学科のこれらの特色を併せ持つ教育・研究が可能となる。また、スケールメリットを活かすことで、これまで設置が困難であった新たな教育カリキュラムに加え、専門性の高い教員による高度な獣医学教育を実施する。具体的には次の教育カリキュラムの特色がある。

1. 専門教育科目は、両大学の学生が等しく履修する斉一カリキュラムと、選択必修として履修する専修カリキュラムから構成する。
2. 斉一カリキュラムでは両大学が獣医学教育を分担・補完しあうことにより、幅広い教育カリキュラムを開発し、実施する。
3. 専修カリキュラムでは国際水準の知識と実践力を兼ね備えた獣医師の養成に必要なカリキュラムを開発し、実施する。
4. 専修カリキュラムでは鹿児島大学は産業動物臨床の、山口大学は伴侶動物臨床の特色を活かした新たな獣医学教育プログラムを開発し、実施する。また、公衆衛生分野および

基礎獣医学分野では各大学の特長を活かしたプログラムを開発し、実施する。

5. 講義等は双方向遠隔講義システムを活用し、実習等は両大学または適切なフィールドへ教員と学生が移動し、効率的・効果的な対面教育を実施する。さらに、公衆衛生分野の斉一実習カリキュラムを開発し、バイオセーフティーレベルが厳密に管理された実習施設において共同で行う。
6. 両大学が有する他学部等の教育資源を活用することにより、獣医学関連分野(畜産学, 野生動物, 水生動物)および獣医倫理等の導入教育を充実する。

IV. 組織の名称及び学位の名称

1. 組織の名称

山口大学共同獣医学部獣医学科
鹿児島大学共同獣医学部獣医学科

2. 学位の名称

学士(獣医学)
学位記は、両大学の大学長による。

V. 入学者選抜の概要

1. アドミッションポリシー

獣医学は動物と人類の健康と福祉に貢献するという理念の基、高度獣医療の提供、人の健康と食の安全、ならびに生命科学研究の発展に国際的視野をもって活躍できる人材を養成する。そのために本学部では次の学生を求める。

- (1) 獣医師としての夢や目標を持ち、獣医学の進歩に貢献しようとする意欲を持つ人。
- (2) 獣医学の知識や技術を十分に理解・修得できる基礎学力を有する人。
- (3) 生命現象に興味を持ち、それを探究しようとする意欲を持つ人。
- (4) 国際的な社会問題に関心を持ち、取り組む意欲を持つ人。
- (5) 新たな課題に自ら積極的に取り組み、解決する意欲を持つ人。

2. 入学者選抜方法

入学者選抜試験は当面は各大学独自に行うが、受験科目や選抜方法については随時、検討して変更・改正を行う。